

さあ、
まだ知らない
利根エリアへ
旅立とう！



STONE AREA GREEN TOURISM
IN SAITAMA

さいたま利根エリア グリーンツーリズム



利根地域 産品・観光

利根地域の沢山ある特産品と観光地の中から
一部をご紹介します！
家族でのお出かけなどの参考にしてください！

行田市

加須市

羽生市

久喜市

蓮田市

幸手市

白岡市

宮代町

杉戸町

※定休日等の場合がございます。
事前に御確認のうえ、足をお運びください。

産品



フライ・ゼリーフライ

「フライ」「ゼリー」というものの、肉や魚を油で揚げた「フライ」やお菓子の「ゼリー」とはまったく違う食べ物です。

「フライ」とは、小麦粉を水で溶き、鉄板の上で薄く焼きながら、ねぎ、肉、卵などの具を入れ、好みてソースまたは醤油だれをつけて食べるお好み焼きのようなものです。

「ゼリーフライ」という名前の由来は、小判のような形から「銭フライ」と呼ばれていたのが変化し、「ゼリーフライ」と呼ばれるようになったと言われていわれています。たくさんのおからとジャガイモをベースに、ニンジンやネギなどが入っているのが特徴で、ソースによる味付けとモチモチとした食感が相まって、行田市民のおやつとして愛されています。

行田麦酒



行田市は古くから水稻と麦類の二毛作地帯であり、ビール用二条大麦の生産も盛んに行われてきました。

現在も二条大麦では埼玉県内1位の栽培面積を誇っています。

大麦の名産地である行田市で栽培されたビール大麦「ミカモゴールド」のモルトを100%使い、上面発酵のエールタイプで芳醇な麦汁とアロマホップの香りが特徴の地ビールです。

観光

忍城



関東七名城の一つとされる忍城は、室町時代の文明年間(1469年～1486年)の初め頃に築城されました。時は戦国時代の終わり、豊臣秀吉の関東平定に際して、石田三成らによる水攻めにも果敢に耐えたことから「浮き城」の別名が生まれたと伝えられています。

現在の忍城御三階櫓は、明治維新の際に取り壊されたものを再建したもので、最上階からは市内の景色が一望できます。

昭和63年に開館した郷土博物館は、かつての忍城本丸跡地にあり、『行田の歴史と文化』をテーマとした展示を行っています。

古代蓮の里



約1,400年から3,000年前のものとされる行田蓮(古代蓮)をはじめとする42種類、約12万株の蓮が植えられています。午前中に開く蓮の花は、6月中旬から8月上旬にかけて見頃を迎えます。

敷地内にある古代蓮会館は、ジオラマや大スクリーン映像が楽しめる体験型施設で、小さなお子様からお年寄まで人気があります。

古代蓮会館の展望室からは、蓮の花のほか、田んぼアート(7月中旬～10月中旬)を楽しむことができます。

さきたま古墳公園



埼玉県名発祥の地、行田市大字埼玉(さきたま)にあり、5世紀後半から7世紀はじめころまでに作られた9基の大型古墳が群集している公園です。令和2年に国の特別史跡に指定されました。

約30haの古墳公園内には、国宝「金錯銘鉄剣(きんさくめいてっけん)」などが展示されている「県立さきたま史跡の博物館」や、はにわ作り体験ができる「はにわの館」などがあり、古代のロマンを堪能できるスポットとして多くの人で賑わっています。

公園内の「観光物産館さきたまテラス」では、特産品の販売やカフェも併設されています。

産品



北川辺こしひかり

豊富な水資源と肥沃な大地に恵まれた加須市北川辺地域で生産され、かぞブランドにも認定されたつつやでもちもちの美味しいお米です。JAほくさい北川辺農産物直売所や道の駅かぞわたらせなどでお買い求めいただけます。

こしひかりロール



「北川辺こしひかり」を100%使用し、自家製粉した米粉で仕上げたロールケーキです。

小麦とは一味違う、ふんわりしっとりとした食感が楽しめます。

〈販売店〉

御菓子司せきね

住所：埼玉県加須市柳生2821-1

電話：0280-62-0002



トマト(木甘坊)

トマトのブランド化推進事業の指定を受けて以来、北川辺地域ではおいしいトマト栽培に励んできました。ブランド指定を受けた「ハウストマト(愛称：木甘坊【きかんぼう】)」は、果実のような甘みがあります。

うどん



じつは香川県に次ぐうどんの生産量を誇る埼玉県。加須市は埼玉を代表する「うどん処」です。

加須市では江戸時代から、冠婚葬祭を始め、祭りやお祝いの日には各家庭でうどんを作る習慣があり、300年以上続く伝統があります。

不動ヶ岡不動尊總願寺に、加須名物の「饅頭粉」を贈られた館林城主からのお礼状が残されており、その日付にちなんで、6月25日を「加須市うどんの日」としています。

観光

むさしの村



埼玉の豊富な自然を生かした遊園地として知られる「むさしの村」は、小さなお子さまと家族と一緒に楽しめる企画が目白押し。遊園地なのに農業体験ができたり、他の遊園地とは一味違う楽しみがいっぱいです。

埼玉県環境科学国際センター



環境学習施設と環境研究所が一体となった環境科学の中核機関です。展示館の「彩かんかん」は、手に触れたり動かしたりできる体感型の展示を3つのゾーンで構成しており、家族で楽しみながら環境問題を理解することができます。また、季節を感じながら自然観察や散策ができる、県東部地域の里山をモデルとしたビオトープも整備されています。

産品



いがまんじゅう

埼玉県北東部の穀倉地帯に伝わる「いがまんじゅう」は、夏祭りやお祝い事の際に作られてきた縁起物で、現在でも郷土の味として親しまれています。赤飯の中にまんじゅうを入れて蒸した「いがまんじゅう」は、甘じょっぱい味わいともっちりとした食感がやみつきになります。

武州正藍染



「武州正藍染」は、藍の葉から採った染料を自然発酵建てで発酵させて染めるのが特徴です。手染めなので微妙な風合いがあり、さめるほどに美しい色合いになります。

染色の手法としては、糸の段階で染める糸染め（先染め）と布にしてから染める型染め（後染め）の2方法があります。武州正藍染では全体の7割が糸染めで、型染めは民芸調などの柄が出せることが特長です。

近年は、ジーンズやエコバックなど、時代のニーズに合った商品づくりにも積極的に取り組んでいます。

羽生市民プラザでは、藍染体験も実施しています。

観光

キヤッセ羽生



キヤッセ羽生の「キヤッセ」は羽生の言葉の「来やっせ」（いらっしゃい）から名をつけました。

都市部に住む人たちにもこの土地の豊かさを味わいに来てほしいという願いが込められています。

地元農産物を活かしたカフェ、朝採りした地元の野菜が自慢の直売所、手ぶらで楽しめるバーベキュー施設があります。

道の駅はにゅう



道路利用者への良好な休憩の場の提供、地域情報の発信等により市民と来訪者との交流を促進し、また、地域特産品の販売等による地域産業の振興を図ることを目的として整備されました。

直売所では生産者が直接納入した新鮮な地場産の野菜が並びます。

さいたま水族館



「ムジナモ自生地」を含んだ羽生水郷公園の中にある「さいたま水族館」は、荒川に生息する生物をはじめ120種類ほどの生き物を展示しています。荒川の約173kmを上流から河口域まで下るようなスタイルで展示されていて、国の天然記念物「ミヤコタナゴ」、県の魚「ムサシトミヨ」、食虫植物「ムジナモ」を増殖して展示もしています。

産品



絹突きところてん

国産天然天草（海藻）100%を原材料として使用し、手間を惜しまずじっくりと炊き上げた「弾力」と「コシ」のあるところてんです。1mm角の極細突きを可能にしたオンリーワンのところてん。練梅と甘いタレのハーモニー「梅味」と滑らかなのど越しと食感、ごま香る「胡麻風味」になります。

〈販売店〉

折原コンニャク店

住所：久喜市本町2-13-27

電話：0480-21-0507

つむぎうどん



全国有数の小麦生産、そして全国2位のうどん生産量を誇る埼玉。県産小麦100%の乾麺を半世紀以上も手がける〔つむぎやの看板商品〕です。噛むほどに小麦の旨みともっちり食感を楽しむことができます。

〈販売店〉

つむぎや栗橋本店

住所：久喜市栗橋中央1-17-1

電話：0480-52-5001

観光



JA 菖蒲グリーンセンター

菖蒲地区はいちごの生産量が県内有数を誇る産地です。菖蒲グリーンセンターでは、特産のいちごを11月中旬から5月下旬まで販売しており、1月上旬からは、いちご狩りも楽しめます。

また、夏から秋にかけては特産の梨を多くの方が買い求め、連日賑わいをみせます。幸水・豊水・あきづき・新高など、8月上旬から10月下旬まで販売しています。

百観音温泉



豊かな自然に囲まれて広々とした露天風呂、寝湯やサウナまで童心にかえって巡る湯めぐりが愉しめます。

野趣溢れる風雅な雰囲気になり、夢心地のやすらぎに包まれます。

百観音温泉館内には泉質満点、豊富な湯量を誇る温泉はもとより、厳選された食材を使用した食事処「松竹亭」や、リラクゼーション施設も併設されています。



コスモスふれあいロード

鷺宮地区の中央を流れる葛西用水路沿いの両岸約10キロに整備され、春は「ポピー」、秋は「コスモス」を栽培しています。
ランナーズインフォメーション研究所から、ランニングコース「秋桜の道」として認定されており、開花時期のランニングがおすすめです。
また、例年コスモスの開花時期に合わせてイベントも実施しています。

産品



梨

白岡の梨栽培は、明治36年に始まり、120年以上の歴史があります。埼玉県内有数の生産量を誇り、「白岡美人」の愛称で親しまれる白岡産の梨は、甘くてジューシーと非常に好評をいただいております。毎年食べたくなる美味しい特産物です。



はなみずきみそ

農業者トレーニングセンター敷地内に「蓮田市みそ加工施設」があります。ここで作った「はなみずきみそ」は、蓮田市産の大豆と米を使用し、麴を多く配合して、まろやかな甘みを出しています。オリジナルブランドとして岩崎農場やまんぼうマルシェ等の直売所で販売されています。また、市内保育園、小中学校の給食にも使われています。

「蓮だいず」縄文焼



蓮田産大豆で作った餡を、大和芋を使用した生地にサンドした和菓子です。蓮田市でたくさんの土器が出土されている事にちなんで、縄文土器の形をしています。

<販売店>

香風のぐち

本店

住所：蓮田市上2-3-15

電話：048-769-2211

東口店

住所：蓮田市東6-3-9

電話：048-764-1800

観光



清龍酒造

清龍酒造本社の周辺には、今もなお武蔵野の名残が各地に見られます。その昔、武州・武蔵野国綾瀬村（埼玉県蓮田市）と言われていた頃より、当地で代々酒造りを家業として営み続けて今日に至っています。清龍酒造が導入している通信販売では、蔵元から直接お客様に商品をお届けすることで、卸問屋・小売店での流通経費を節約することができます。



関根農園

蓮田の地でトマトと苺を育てています。

関根農園では、地産地消で安心・安全をモットーに、地域の皆様に喜んで食べていただけるように心をこめて生産しております。

産品



合鴨燻製

あい鴨肉の脂肪には、不飽和脂肪酸が多く含まれ善玉脂肪酸として血中コレステロールを低下させる働きがあります。消化しやすく、お年寄りや病人の方にもお勧めです。さらにビタミンA、E、B2や鉄分も多く含むので健康維持、美肌、貧血にも効果的です。ヘルシーで、ビタミンやリノール酸等を多く含んだ栄養価の高い食材です。鴨鍋・鴨焼き・鴨しゃぶ・鴨南や鴨汁そば・バーベキュー・鴨カレー等様々なお料理で合鴨肉をお楽しみ下さい。

〈販売店〉

浜田商店

住所：埼玉県幸手市大字惣新田3062

電話：0480-48-1137

塩がま



数ある和菓子の中でも江戸時代からそのまま受け継がれている伝統の和菓子の塩がまは、もち米・砂糖・塩等材料を用いて型に押し固めて作るのので、「押し物菓子」の一種になります。口に入れたときに、「ほっこり〜」とする食感で、お茶と一緒に頂くのが一般的です。明治9年6月3日には明治天皇東北御巡幸の際に献上されました。非常に歴史のある塩がまは、幸手市「北町商店会」にある和菓子店「石太菓子店」でお買い求めいただけます。

観光



県営権現堂公園

桜の名所として親しまれている幸手権現堂桜堤や隣接する権現堂調整池の水辺空間を活かし、「レクリエーションの拠点ならびに水とのふれあいの場となる公園」を目指して埼玉県が整備を進めています。この公園は、多目的運動広場の1号公園と、歴史と文化と緑の3号公園、幸手権現堂桜堤の4号公園、レクリエーションを目的とした2号公園のそれぞれの特色を持った4か所の公園で構成されております。



農産物直売所さくらファーム

JA埼玉みずほ農産物直売所『さくらファーム』は桜で有名な幸手権現堂桜堤公園に隣接しています。

地元の農家が一生懸命作った新鮮野菜、農産物加工品、地元産の米等を取り揃えています。また、加工室で手作りしているおいしいお弁当なども販売しています。

石井酒造



天保11年創業。埼玉県幸手市にある石井酒造は150年以上、丹精込めた手作りの酒造りをおこなっています。

近年では生酏つくり、全量白麴つくり、赤色酵母を使った桃色濁り酒など昔ながらの製法から先進的な製法までを取り入れた酒造りをおこなっており、常に新しい挑戦を続けています。

産品



梨

白岡の梨栽培は、明治36年に始まり、120年以上の歴史があります。埼玉県内有数の生産量を誇り、「白岡美人」の愛称で親しまれる白岡産の梨は、甘くてジューシーと非常に好評をいただいております。毎年食べたいくなる美味しい特産物です。



シラオカ麺

「シラオカ麺」は、シティプロモーションの推進や商業の振興を目的に、市のマスコットキャラクターである「シラオ仮面」とのコラボ商品として開発された麺類のメニューです。

観光



柴山沼

柴山沼は元荒川の浸食作用によって形成された河川跡で、周辺農地の農業用ため池として大切な役目を持っています。

現在の柴山沼は、灌漑用水としての機能を持つほか、埼玉県の水環境整備事業により、自然空間の再生と豊かであるおいのある水辺として地域の憩いとふれあいの場として整備されたものです。

稲穂通り沿いには、桜が並び、春には桜を見ながら散策を楽しむことができます。また、白岡菖蒲ICから車で5分のアクセスのよい場所にあり、県外からも多くの釣り客が訪れる人気のスポットです。

水辺のある環境を活かして、ゴールデンウィークには鯉のぼりが掲揚され、5月下旬にはカヌー体験や市内の商店が出店するイベントが開催されています。クリスマスシーズンには、イルミネーションが点灯し、夜の柴山沼を美しく彩ります。

白岡八幡神社

今から1,100有余年前、平安初期の嘉祥2年(849年)に草創され、地域の文化を支え脈々と受け継がれてきた伝統ある神社です。

末社には「湯島天満宮」のご分霊が白岡天満神社に鎮座しています。嘉祥二年(八四九)名僧 慈覚大師円仁により勧請するところといわれ、正八幡、若宮八幡、姫宮八幡の御三座を奉斎され、古来より三社八幡とあがめ奉られております。



拝殿



獅子博物館

獅子舞に関する獅子頭や衣装の実物、獅子の模型、全国各地の多くの写真、郷土玩具など
獅子に関連する資料を集めた日本で最初の私立博物館です。

産品



巨峰

町内に約20軒ある生産農家の皆さんが、大切に育てた甘い巨峰は、庭先販売や、農産物直売所「新しい村 森の市場結」などで販売されており、毎年たくさんの消費者の方々に好評を得ています。また、宮代町のイメージカラーが巨峰にちなんで紫色であり、さまざまな形で広く町民の皆さんに愛されています。8月から9月に旬を迎え、甘くてみずみずしい宮代の巨峰をお楽しみいただけます。



米「みやしろっ子」「村育ち」

宮代産コシヒカリ「みやしろっ子」をはじめ、株式会社新しい村で生産しているコシヒカリ「村育ち」などさまざまな種類があります。新しい村では、レンジで温めるだけで食べられる、便利なパックライスも販売しています。減農薬減化学肥料の特別栽培米「コシヒカリ」を使用し、玄米と白米の2種類あります。

観光

東武動物公園



東武動物公園は、動物園・遊園地・プールと花と植物のエリアが融合したハイブリッドレジャーランドです。動物園エリアには、ホワイトタイガーをはじめ約120種の動物たちが生息しています。飼育係によるイベントやガイド、動物パレードなど様々なイベントに加えて、エサやりなど動物とのふれあい体験も充実。遊園地エリアには、人気の絶叫アトラクションやお子様と一緒に楽しめるほのぼの系アトラクションなど、約30種類の多彩なアトラクションがあり、小さなお子様から大人までお楽しみいただけます。

新しい村



新しい村は、「農」をテーマとした「生産」や「消費」、「農業体験」などを通して、歴史に学び、自然と向き合い、互いに助け合いながら暮らす社会を築いていく場として宮代町が整備した場所です。地元で採れた新鮮な農産物や旬の農産物を使用したパンやお惣菜を販売しています。また、田植え稲刈り・野菜の収穫体験や園内のハーブを使用したハーブオイル作りや酵素シロップなどのワークショップを開催しています。

ROCCO



ROCCOは、宮代町とその近郊で生まれたおいしいもの、楽しいことをつめ込んだ、6戸の家からなる「セレクト横丁」です。築50年の平屋をリノベーションし、地域の人々が集える場所に生まれ変わりました。個性豊かな4つのお店とシェアキッチン、そしてイベントスペースが並ぶROCCOは、「はしご」ができるのも楽しみ方です。

産品



柿(早生次郎)

大ぶりで形がよく、たっぷりとした甘みが特長です。花卉栽培に適した豊岡地区で、早生品種を生産しています。農薬をできるだけ使わずに一つずつ大切に育てられています。杉戸町推奨土産品の一つです。



丸系八つ頭

「丸系八つ頭」は、埼玉県オリジナルの「八つ頭（さといもの仲間）」の系統で、大きな丸い形と、さといもと比べてホクホクした食感が特徴です。杉戸町などを中心に栽培されています。11月から年末年始にかけて旬を迎えます。

観光



アグリパークゆめすぎと

アグリパークゆめすぎとは、農業を通じて「人と人とのふれあいの場」を提供する道の駅です。10.2ヘクタールの広大な敷地内には、農産物直売所や食堂あぐり亭、バーベキュー広場、農園など多彩な施設があり、家族や仲間と一日中楽しめます。

杉戸天然温泉 雅楽の湯



@nifty温泉さんの人気温泉ランキングで5年連続で全国第1位に選ばれている杉戸天然温泉 雅楽の湯では、源泉かけ流しの露天風呂・内湯、高濃度炭酸温泉、足湯、岩盤処、レストランなど、一日ゆったりおくつろぎ頂ける空間が広がっています。雅楽の湯の温泉は豊富な塩分に加え、鉄分等も含まれた大変濃厚な温泉です。そしてその鉄分が空気に触れることで本来透明な源泉が茶褐色に変化していきます。約45℃の源泉かけ流し温泉をご堪能ください。

杉戸宿



江戸時代、五街道の一つに数えられた「日光街道（日光道中）」。
埼玉県内には杉戸宿を含む6つの宿場町がありました。
杉戸宿は1616（元和2）年に成立し、2016年に開宿400年を迎えました。
十返舎一九の「奥羽一覽道中膝栗毛」には杉戸宿の様子が描かれており、当時の賑わいを垣間見ることができます。
横町から上町近郊の街道沿いには古い民家、蔵が残され、復元された高札場とともに街道の歴史を今に伝えています。